

Comments and Discussions

Soemon TAKAKUWA*

先進国においては、IT が国の経済成長を促進するという効果があるとされる。本論文では、生産可能性フロンティアと双対法という手法を採用して、1980 年ないし 2003 年の期間を対象として、IT の投入による中国経済に与える影響について分析が行われている。その結果、IT が中国の経済成長を促進してきた効果は明らかである、と結論づけている。さらに、同時期の日米における状況と比較検討が行われ、IT がその三カ国の経済成長に与える影響やそのルートの異同について究明したうえで、中国経済を持続的に発展させるために、IT の投入が如何に行われるべきかという問題について提案が行われている。

内容の記述は明快かつ詳細になされており、ERC Discussion Paper として刊行するのにふさわしい論文であると評価できる。

* Professor, Graduate school of Economics, Nagoya University.